

# 家庭の食育を、地域で応援

～食育シンポジウム2008in 河和田報告～

11月15日、鯖江市のうるしの里会館(越前漆器伝統産業会館)にて、生協や福井県JA中央会、福井県協同組合連絡協議会などと共催で、食育シンポジウムを開催しました。

くらしの研究所の理事であり福井大学教育地域科学部 教授でいらっしゃる戎利光氏による『子供の食生活と健康・生活習慣及び親の関わり』をテーマに基調講演をいただいたあと、『地産地消の昼食タイム』、『食育体験活動事例発表』『パネルディスカッション』と、心にも身体にも脳にも“栄養”がまわった1日でした。

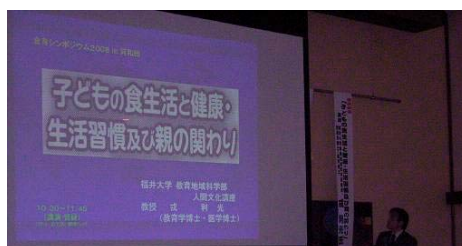


## ↑パネルディスカッション

食育推進日本一の福井県というけれど、食育活動はまだそれぞれの団体や行政による“点”の活動。点をつなげて”面”の活動に…。

## 地産地消の昼食タイム

紫雲米のおむすび、いのしし汁、サトイモの胡麻和え、米粉ドーナツ…。おなかも心も大満足！



## ↑戎教授の講演

親の「食」へのかかわり方が子供の食生活と健康に影響を及ぼすと、調査結果をもとに話されました。



# 『消費生活アドバイザーってご存知ですか？』

～消費生活アドバイザー資格普及啓発事業報告～

11月29日、AOSSAにて、『消費生活アドバイザーってご存知ですか？』をテーマに、消費者のクレームや不満足要因をすばやく察知して対処するための優れた人材として「消費生活アドバイザー」の資格が有用であることを企業の方々に知っていただくことと、資格取得によって新たな社会活動ができることを福井の消費者に広報するため、(社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会(NACS:ナックス)と協働でシンポジウムを開催しました。

生協のお取引業者会である「福井虹の会」会員の皆様をはじめ県民生協職員や有資格者、消費生活アドバイザー資格に関心のある一般消費者など、テーマに関心の高い方々が参集しました。

## 基調講演「消費者の声から商品開発へ～苦情・クレーム博覧会～」

企業は消費者の声を聞いて商品開発し、また消費者も自分の購買行動が地域経済効果に寄与するような商品選択ができるように賢くなることが求められると、企業、消費者それぞれの立場でもわかりやすい内容でした。講師は、福井商工会議所 商工相談所 所長 峠岡伸行氏。



## ←座談会

北陸3県それぞれで活躍している消費生活アドバイザーが、資格取得のきっかけや動機、資格を仕事や生活にどのように活かしているか、今後どのように活かしていきたいか、これから受験する人へのアドバイスなどについて話され、資格取得の具体的な内容がわかりやすく、理解も深まりました。

